

時間 スケジュール

受付



今朝の15F・シャルムからの旭川市内

18:30 開会宣言

笹川和廣 会場監督



” 只今より
 旭川モーニング
 ロータリークラブ
 第1079回例会を
 開催致します。”

” 高見一典会長
 点鐘をお願い
 致します。”



受付左から小川会員・宮永幹事・竹澤・小柳会員

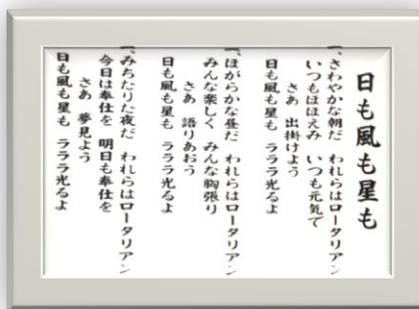
18:31 点鐘

♪ 日も風も星も ♪

18:32 ロータリー
 ソング



会長
 高見一典会長点鐘



18:35 四つのテスト
 唱和



本日の
 ”四つのテスト”は
 笹川和廣会員です。
 笹川会員
 お願い致します。

時間	スケジュール	高見一典会長
18:37	会長挨拶	<p>会員皆様こんばんは。先般、24日の北見市での地区協議会には21名という多数のご参加を頂き誠にありがとうございました。</p> <p>本日4月最後の例会は夜間例会で終了後はクラブ協議会を開催し次年度の抱負を述べることとなっていますが、今夜の参加人数は15名となってしまいました。</p> <p>7月からの2016-17年次年度は河崎会長と小川幹事の新体制でスタートしますが、広報委員会が新たに追加され、次年度から5大委員会となりました。</p> <p>次年度会長・幹事のご挨拶後に5大委員長からも次年度に向けて発表して頂くことになっています。</p> <p>今回のSAA会場監督は初めての経験という笹川会員ですが、床屋さんに行って気を引き締めてきたということです。大変決まっています。</p> <p>今夜宜しく願い申し上げます、挨拶とさせていただきます。</p> 
18:40	会務報告	<p>宮永憲一幹事</p>  <ol style="list-style-type: none"> 1) 国際ロータリー日本事務局経理室より、ロータリーレート変更通知 収受。 5月1日より 1ドル=110円 (現行116円) 2) 5月中市内他ロータリークラブ例会変更通知 (配布参照)。  <p style="text-align: center;">夕食 <i>menu</i></p>
19:45	食事と懇談	 <p style="text-align: center;">左から飛弾野・小柳・笹川SAA</p>  <p style="text-align: center;">左から高見会長・宮永幹事・小川・河崎会員</p>  <p style="text-align: center;">左から安井・竹澤・脇坂・井上会員</p>  <p style="text-align: center;">左から武田・林・木村会員</p>  <p style="text-align: center;">食事と懇親会</p>  <p style="text-align: center;"><i>after smoke</i></p>

19:00 3分間
スピーチ

start



たまごの不思議

笹川和廣会員

日常生活の食卓に欠かせない「たまご」についての「Q&A」をしてみます。

Q: 「たまご」の漢字は、「卵」と「玉子」と二種類ありますが、その使い分けは?
A: 生まれたまを「卵」、調理したものを「玉子」と書きます。
つまり「生卵」と「厚焼き玉子」と使い分けします。

Q: 卵の大きさは、通常「L・M・S」がありますが、鶏の体の大きさで決まる?
A: 若鳥ほど「卵管が細いので「S」が多い。
産卵回数が多くなると卵管が太くなり卵も大きくなります。

Q: 卵の大きさと“黄身の大きさ”は比例し、Lサイズは白身も黄身も多くなる?
A: 黄身の大きさはSもLもほぼ一定です。

一般的に玉子かけご飯にはSサイズ、オムレツには白身の多いLサイズが“ほわほわ感”が出るので適当です。



stop



19:05 ニコニコ
ボックス

林雅美親睦委員

本日のニコニコボックス。



宮永憲一幹事 : 長い間欠席しまして誠に申し訳ございませんでした。
あと2か月全力で頑張ります。
小川伸治会員 : 先日の地区協おつかれ様でした。
佐々木靖文会員 : 地区協議会、皆様・・・おつかれ様でした。

平成28年4月28日現在累計金額 299,000円

19:10 出席報告

河崎高麗男例会運営委員長

本日の出席	第1079回例会	総員 26名
	4月28日	出席 15名
	出席率	57.69%
修正出席	第1076回例会	総員 26名
	4月14日	出席 25名
	出席率	96.15%
実績平均出席率(4月14日現)		36回 88.72%

旭川モーニングRC
例会出席簿



メイクアップ(敬称略) 4月23日: 河崎高麗男・小川伸治・武田昭宏 (地区会長エレクト研修セミナー)
武田昭宏・河崎高麗男・小川伸治 (地区会員増強セミナー)
4月24日: 河崎高麗男・小川伸治・飯塚達夫・石川千賀正男・木村和哉・桑原義彦・小柳裕子・
坂本信一・笹川和廣・嵯城俊明・高見一典・竹澤元男・武田昭宏・竹村陽子・林 雅美・
飛弾野正幸・福居恵美子・宮永憲一・安井裕子・脇坂慎一 (地区研修・協議会)
4月25日: 小川伸治・宮永憲一・井上雄樹 (旭川南RC)

19:15 点鐘



高見一典会長終礼点鐘 宮永憲一幹事

クラブ協議会(6)

河崎高麗男次期会長



23日のPETSでは駒形曙美ガバナー・エレクトが、一月、米国カリフォルニア州サンディエゴでの国際協議会でジョンF. ジャーム2016~17年度国際ロータリー会長は今年度のテーマを「人類に奉仕するロータリー」と掲げ、会員はロータリーを通じて友人とで会い、地域とつながりを持ち人々と絆を育み、キャリアを築いて、毎週楽しく語り合いながらアイデアを分かち合うために集まっています。私たちが集うという一番の理由はそして最も大切な目標それは即ち奉仕のためなのです、と紹介が有りました。

そして国際ロータリー2500地区駒形曙美ガバナーは1905年創立者ポール・ハリスと3人の友人から始まったロータリーは、200を超える国と地域に広がり、クラブ数35,000以上に達し、そして、その世界中ロータリー・クラブの結集するネットワークが国際ロータリーであり、「超我の奉仕」の理想を掲げるロータリアンは同じ価値観とビジョンを共有し、一体となって地元や地域やその他の地域や他の国の地域社会のために貢献して来ま

した。ロータリーが1,220,000人以上のロータリアンを要する組織となったのは創立者を始め先達の人々の強固な創立の精神と理念、それに情熱が有ったからこそこのような発展を遂げる事が出来ました。しかし創立から100年たった今、ロータリーを取り巻く環境は、時代の変化等の要因が有って大変厳しい状況が続いています。このためロータリーは、これらの問題に対応するため様々な取り組みを行っていきますと述べ、ロータリーがこれからもダイナミックな組織でありつづけ、世界中の地域社会に貢献していくための将来への指針となるのが、**ロータリーの戦略計画**です。この戦略計画は、クラブのサポートと強化、人道的奉仕の重点化と増加、公共イメージ認知度の強化という**3つの戦略的優先項目**を掲げ、その下に**16の目標**を定めています。ロータリアンはこれらの優先項目と目標を活動の指針としています。国際ロータリー会長のテーマを実現するためには、ロータリー戦略計画の実践が最も効果的な方法だと訴えておりました。そして、ロータリーの創始者であるポール・ハリスは、「ロータリアンは言葉より行動に心惹かれます」と述べています。ロータリアン一人ひとりの積極的な行動は、クラブの活力と成り、その活力がロータリーの活力と成り、やがて大きな原動力となって地元地域や、世界中の地域社会のために貢献しさらに世界平和の推進へと広がります。と述べ地区活動方針を「**ロータリーの明日のために、積極的に行動しよう**」と10項目の活動目標を掲げ地区活動を積極的に推進すると発信されました。

クラブ最高齢の私が2回目の会長として求められたのは何かと考えながら、旭川MRCの未来を見つめて行きたいと思えます。「**超我の奉仕**」この一年、ロータリーとは何か。何に取り組んでいくのかを、クラブを通じて地域社会奉仕活動を始め次代を担う青少年の育成活動などの重点を置き、各奉仕委員会と他団体と協力を以ってロータリーを楽しく積極的なクラブ奉仕活動を目指し、地域社会へ旭川MRCの情報を広げて行く事が必要でないかと思ひ、ロータリーの基本を学び直す年度として、「**入りて学び 出でて奉仕せよ**」ロータリーの奉仕活動に積極的に参加できるクラブとして未来へととはばたけるように、**四つのテスト**を真に実践するクラブが必要だと考えます。**国際ロータリーは今大きく変わろうとしています**。旭川MRCとしても将来強くて活気ある組織であり続けるために、私たちはこれらの優先項目と目標を指針として行かなければ成らないと考えます。年度の活動状況をクラブで時々確認し、どのような成果を挙げているか、改善すべき点は何かを検討し、この評価を基に、会長エレクトと会長ノミニーが次年度以降の目標と計画を立てることが出来るというのが戦略計画です。ロータリーがこれからも目標に向けて前進しつづけていくために、戦略計画は、ロータリアンの願いや希望を取り入れながら進化していくものだと思います。旭川モーニングRCは地区内でのリーダーと成れるような、活気ある未来のクラブの姿を目標に**未来への戦略計画**を立て、**1. クラブの現状はどうか 2. クラブは何を目指しているのか 3. どのように目標を達成できるか 4. 目標に向けての進捗はどうか**などを長期的ビジョンを描く機関(**戦略計画委員会**)を設立して行きたいと思ひます。我がクラブは非常に行動的で意欲に富んでいます、さらにアイデアを以って行動する事がクラブの活性化と未来に繋がり、クラブに繁栄をもたらす革新性へと飛躍を可能にするものです。2016~17年度の我がクラブのテーマを「**行動しよう・未来のクラブのために**」とさせて致しました。親睦、高潔性、多様化、奉仕、リーダーシップで責任あるリーダーとして世界の切実な課題を解決する行動を目指していきたいと思ひます。そのために五大委員長さんには「**クラブを成功に導くリーダーシップ**」各委員会編と「**クラブリーダーシップ・プラン日本**」冊子をお渡しして御座います。その中に各委員会の検討課題のテーマが有りますので、それを取り纏めて頂き活動計画に反映させて頂きたいと思ひます。

☆**クラブ管理運営委員会へのお願い** ・管理運営委員会の役割は、クラブの円滑な運営を助けることです。多くの会員にとって、ロータリーでの時間を最も多く過ごすのが例会です。例会では、互いの近況や地元地域の問題を話し合ったり、クラブの活動やプロジェクトを計画したり、ロータリーの最新情報を学びます。会員としての誇りを培い、地元や海外の問題への意識を高め、パフォーマンスもよし「出席してよかった」と思えるような楽しい例会を計画実施して頂ければ幸いです。

☆**広報委員会へのお願い** ・RIで今一番クラブに求めている事は地域の皆さんにロータリー・クラブの存在を理解して貰う事です。地元や海外で地域社会のために活動するロータリーの原動力は、世界120万人の会員にあります。会員が増え、地域社会からのサポートも増えれば、ロータリーがもっと大きな活動成果をもたらすことができるでしょう。そのためにはまずロータリーという組織と活動をよく地域に知ってもらうことが大切です。ロータリーを紹介するには、会員一人ひとりが重要な役割を果たします。各会員が家庭、職場、地域社会でロータリーについて話すことから



広報が始まるのです。一人ひとりが広報の一端を担っていることを伝え、ロータリーを知らない人に説明する際は、「さまざまな職業や経験をもつ会員が集まって、地域社会に奉仕する」という、ロータリーの特徴をアピールしましょう。ロータリーへの理解が深まれば、クラブへの関心が高まり、ボランティアや寄付も集まりやすくなるはずで、クラブが地域社会で実施している奉仕活動に対する人びとの認識と理解を深めることです。地域の人びとが関心を抱くような活動やイベントを計画し、地元メディア（報道機関）の関係者を招待し、また、話題性のある例会プログラムをクラブ管理運営委員会とともに企画し、メディアの関心を引くような活動を奉仕プロジェクト委員会とともに計画して戴きたいと思ひます。又Rotary.org（ロータリーのウェブサイト）には、クラブに役立つ情報、資料、ツールが満載され、自分のクラブの活動状況を確認する事が出来ます。ログインするには、まずアカウント登録をする必要がありますので「My ROTARY」の登録100%の目標を積極的に推進して頂きたいと思ひます。会員向けサイトでロータリーの研修資料、推進資料作成ツール、クラブ運営など役立つ情報をご利用いただけますのでお祈ひします。

☆会員増強委員会へのお祈ひ ・会員増強委員会の役割は、新会員の勧誘と既存会員の維持のための行動計画を立て、実行する事です。地元や海外での奉仕活動、ロータリー財団の支援、将来のリーダー育成…。どの場面でも、一番大切なのは、その担い手となる会員です。活動熱心な会員を中心に、充実したクラブが築かれ、会員基盤も発展して、会員基盤を考えると、もう一つ大切な要素は「多様性」です。クラブの会員構成は、地元の職業人や文化的特徴を映し出し多様な会員が集まっていれば、その多様性に惹かれて入会希望者も増え、幅広いスキルと経験を活動に生かし、互いに成長し合える環境ができると言われています。会員基盤の強化は、ロータリー戦略計画の目標の一つです。この活動において中心的な役割を果たすのがクラブ会員増強委員会です。委員会は主に、会員の勧誘、維持、研修にあたります。異業種の会員との交流は、ロータリーの特徴の一つです。このため、多様な職業の会員が いるクラブは、入会候補者にとって魅力的に映るでしょう。また、会員が持つさまざまな専門知識やスキルを生かすことで、さらに実り豊かな奉仕活動が可能となります。会員が積極的に参加しているクラブほど、斬新で実り多い奉仕活動を数多く実施しています。会員は、ロータリーを支える大切な存在で積極的な会員はクラブの枠を超えたロータリーのリーダーとして活躍していくと言われています。 会員増強10%の目標をお祈ひします。

☆奉仕プロジェクト委員会へのお祈ひ ・奉仕プロジェクト委員会の主な目的は、クラブでの奉仕活動を取りまとめることです。クラブのニーズに応じて委員会の構成と役割を検討し、地域社会の真のニーズに応える 奉仕プロジェクトの実施を助けることです。奉仕プロジェクト委員会は、地域社会のニーズに沿った奉仕プロジェクトを企画実行して頂きたいと思ひます。プロジェクトを計画する際は、ロータリー優先分野に当てはまる活動を選ばなければなりません。・平和と紛争予防／紛争解決・疾病予防と治療・水と衛生・母子の健康・基本的教育と識字率向上・経済と地域社会の発展の六つの優先分野 世界中のロータリー・クラブは、それぞれの地域で草の根の奉仕活動を行っています。ロータリーには、人道的活動、国際交流、教育支援など、クラブや地区が参加できるさまざまなプログラムがあります。ロータリープログラムの機会を利用して見ては如何でしょうか。ロータリープログラムの魅力は、参加を通じて国内外に新しい友人ができ、楽しみながら奉仕できることです。全会員に参加を呼びかけるとともに、地元の若者、家族、友人や同僚など、地元地域の幅広い人たちにも参加してもらおうプログラムを発して頂きたいと思ひます。

☆ロータリー財団委員会へのお祈ひ ・ロータリー財団の使命は、ロータリアンが、健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることです。クラブのロータリー財団委員会の役割は、財団活動への参加と支援を会員に促すことです。ロータリー財団委員会の責務の一つは、財団を通じて実現された数々の活動を会員に紹介することです。財団への寄付がいかにかロータリーでの活動に生かされているかを知れば、支援しようという気持ちが高まることだと理解されるでしょうし、そしてロータリー補助金を活用して「世界で良い事をしよう」を推進してほしいと思ひます。

2016規定審議会報告

2016年4月10～15日に開催された規定審議会、クラブ関係の決定事項と題しての小船内修一パストガバナーより報告が有りました。今回の審議会では、例会スケジュールや会員身分に関してより多くの裁量をクラブに委ねる立法案や、3年にわたって4ドルずつ人頭分担金を増額する立法案が採択されました。この増額による収入は、ロータリーウェブサイトを含むオンラインツールの改良と、クラブにおける会員増強を支えるプログラムや業務提供のために使用されます。ロータリーのガバナンスにとって重大な決定を行う規定審議会は、3年ごとにシカゴで開催され、世界中から集まる代表議員がロータリーの組織規定に変更を加える立法案を審議します。審議会で採択された変更は、7月1日より有効となります。今回の審議会は、柔軟性を増加する案件に多くの注目が集まりました。・一つは、クラブが月に少なくとも2回以上の例会を行う限り、いつ、どのくらいの頻度で例会を開くか、あるいは例会をキャンセルするか、また何をもって例会とするかについて、より多くの裁量をクラブに与えるものです。・もう一つは、会員身分について新しい試みができる柔軟性をクラブに与えるものです。これらの案件はいずれも採択されました。代表議員はまた、RI定款から会員資格6項目を削除し「職業上および（または）地域社会でよい評判を受けており、地域社会および（または）世界において奉仕する意欲のある人」という簡潔な会員資格に変える案件も採択しました。・人頭分担金における年4ドルの増額は、増額または抜本的なコスト削減をしないと、2020年までに一剰余金が必要レベルを下回るとする財務5カ年計画を基に決定されました。この決定により、人頭分担金は2017-18年度に60ドル、2018-19年度に64ドル、2019-20年度に68ドルに増額されます。それ以降の年度の額については次回の規定審議会で討論されます。グレッグ E. ポッドRI副会長は、「現在の枠組みを越えて、ロータリーの未来について考えなければならぬ」と述べ、人頭分担金による収入が増加すれば、My ROTARYを改良し、会員増強を支えるリソースをクラブに提供し、クラブと地区の報告を簡素化し、ローターアクターもウェブサイトを活用できるようになり、変化する世界の標準に合わせてシステムを修正することが可能になると説明しました。規定審議会では、上記のほかにも重要な決定がなされました。・毎年オンラインで開催する決議審議会の創設が承認されました。決議審議会ではRI理事会に

クラブ
協議会

提出する決議案の検討が行われることとなり、これにより、3年に1度開かれる規定審議会では、ロータリーの組織規定に変更を加える制定案に集中して審議することが可能となります。3年任期で選出される代表議員は、決議審議会に毎年出席し、最後の年に規定審議会に出席します。本件の提案者は、この変更に伴い規定審議会を1日短縮できれば最大30万ドルの費用削減につながるとの予見を発表しました。・ローターアクターが同時にロータリー・クラブの正会員となることを認める制定案も採択されました。本件の提案者は、30歳という年齢上限を迎える前にローターアクトを去ることに消極的なローターアクターが多いため、ロータリーに入会するローターアクターが極めて少ない(5%程度)ことを主張しました。より多くの選択肢をローターアクターに与えることで、多くの資格ある若いリーダーにロータリー入会への道を開けるようになることが期待されます。・従来型クラブとEクラブに区別をなくす立法案が採択されました。これは、クラブが既に多様な方法で柔軟に例会を開いており、従来型とEクラブを区別する必要がないと判断されたためです。ただし、クラブ名に“e-club”(Eクラブ)が入っているクラブは、その名称を維持できます。・細則から入会金への言及箇所が削除されます。本件の提案者は、入会金への言及は、ロータリーの現代的なイメージを促進するものではないと主張しました。・会員増強が組織の最優先事項であることを認識し、会員増強の常設委員会が設置されました。また、ポリオ撲滅が最優先される目標であることが再確認されました。・今回の規定審議会立法案の採択をみますと、ロータリーは随分変わりつつあります。入会基準をやわらげ、出席規定を緩和するなど、ロータリーの初めの厳しさがなくなる傾向にあり、ロータリーには馴染まない内容になりつつあり、ロータリーのライオンズ化と危惧する声もあるようがクラブ細則でしっかりとロータリーの心と奉仕の実践できる指針を組んでロータリーアンの心だけは失わないようにしていく事であると感じました。

19: 40 次年度幹事
活動計画

皆さん、あらためまして次年度幹事を努めさせていただく事になりました。河崎、次年度会長の下！精一杯努めさせていただきますがまだ、まだ 未熟物ですので皆様にご迷惑等、お掛けする場面が多々、あると思いますが ご指導、ご協力の程、宜しくお願い致します。まずは、先日行われました、北見での地区協議会に多数、参加を頂きまして ありがとうございます。自分もPETSに初参加させていただき、特に武田委員長司会の地区会員増強拡大だけは規定審議会等の話の中で現実的な所もありとても興味がわきました。地区協、分科会では、2500地区HPの件及び、会計の方では次年度地区予算 中での変更点、主にVTT予算が半分、又、新しく、規定審議会派遣積立資金 が創設された趣旨の話がありました。次年度、各委員長の方々から既に色々なお話を窺っておりますので大船に乗った気持ちですが、幹事としての活動は会長テーマの(行動しよう、未来のクラブのために！)を実践し、特に地域に根ざした活動を行い、メディア等での活動PR又、オンラインツール等の活用を行う中での会員増強を実践できればと思っております。私自身、ロータリー暦が短く、勉強不足な部分も多々ありますが、そんな自分でも楽しめるような場所を作る事が会員増強にも繋がるのではないかと考えております。ハメをはずす様な事が多々あるかとは思いますが川崎会長の下、皆さんと なるべく多くのコミュニケーションをとりながら楽しく、そして来年の今頃、充実感が得られる様な一年にしたいと思っておりますのでどうぞ宜しくお願いを致します。

小川伸治次年度幹事



19: 46 5大委員長
活動計画

安井裕子次年度クラブ管理運営委員会委員長



ジョンFジャームRI会長は「人類に奉仕するロータリー」をテーマと掲げています。クラブの発展を望むのであれば奉仕を通じて全員が同じ方向に進まなければなりません。とっています。そのテーマを受けてRI2500地区駒形ガバナーエレクトは「ロータリーのあしたのために積極的に行動しよう」 先ず行動しよう・・・を掲げています。次年度、当クラブは河崎エレクトの方針といたしまして「会員1人1人が自由な発想をもって多岐に渡り充実した委員の取り組み、そして皆の役割発揮を期待します」と掲げています。例会運営委員長を妹尾会員、委員・井上会委員・親睦委員長を木村会員、委員・竹村会員、宮永会員、大久保会員、佐々木会員、林会員です。皆の個性、輪、身近に感じられる運営に努め、会員が楽しく、且つ役割発揮が出来るよう配慮し、親睦が図れる取り組みを行います。行動しよう未来のクラブの為に・・・を合言葉に・・・一年間、宜しくお願いいたします。

19: 49 5大委員長
活動計画

小柳裕子次年度公報委員会委員長



私達のクラブで次年度より新しく設けられます広報委員会の委員長を仰せつかりました小柳でございます。宜しくお願い致します。広報委員会は二つの小委員会からなっております。1. 広報雑誌委員会：委員長 嵯城 俊明さん、委員・坂本 信一さん 2. 会報IT委員会：委員長 今井 孔太さん、委員・飯塚 達夫さん、坂本 信一さん でございます。国際ロータリー、RIの広報委員会の資料によりますと広報委員会の役割はクラブとロータリーに対する認識向上を図ることとあります。クラブの奉仕活動やプロジェクトに対する地域社会での認識と公共イメージを向上することです。今のところ具体的にどの様な方法でアピールするか考えている事は揃いのイベントジャンパー(背面にロータリーマーク・クラブ名プリント)を作製し地域のボランティア活動(ゴミのポイ捨て禁止運動・塗装)の際に着用して参加することでロータリーとモーニングクラブを知ってもらう。

ジャンパーの色とかは皆さんと相談してこれから決めたいと思います。またクラブの奉仕活動などをする場合はメディア機関に紹介していく様にしたいと思います。もう一点は皆さんパソコンとインターネットは繋がっていますか。是非「MYROTARY」に登録して下さい。マイローターのアカウントをお持ちでない方は入手して下さい。目標は出来れば全員にして頂きたいと思います。会報IT委員会の今井委員長はそちらのプロですからご相談ください。この「MYROTARY」からはローターの色々な役立つ情報や資料を入手出来ます。もう一点、クラブのホームページの内容を更に充実させること。入会案内を作るとか、していったりと考えております。また私達が購読しております「ロータリーの友」、「MYROTARY」からの情報をクラブ内で共有して行きたいと思います。次年度へ向けてこれから広報委員会を開きまして活動方針を煮詰めていきたいと思っています。どうぞ宜しくお願い致します。

19:55 5大委員長
活動計画

石川千賀男次年度奉仕プロジェクト委員会委員長
代・武田昭宏次年度社会奉仕委員会委員長



奉仕プロジェクト委員会は、限りある資金と会員の知識や経験を生かして、地域社会のニーズに沿った奉仕プロジェクトを企画し、実行するとあります。その重点分野の中の、「経済と地域社会の発展」に注目し、今年度は、上川地区、旭川地区の地域社会の発展のためのプロジェクトを企画立案し、2500地区第3分区としての、一体となるプロジェクトを展開するための企画に積極的に議論をふまえてみたいと考えます。世界にひとつの花園空港（旭川空港）の実現と空の駅構想プロジェクト（案）。
1. 現状を調査し、把握する。
2. プロジェクトの場所を選定する。
3. 企画、計画、基本プランの意見調整。
4. プロジェクトの成功に導くための提案書の作成。
5. ボランティア活動と関係諸官庁との擦り合わせ。
職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕の4つの委員会と連携し、各委員長の自主性のもとに、各委員会活動の目標を効果的に達成出来るよう環境を整備し、地域社会、国際社会に貢献するプロジェクトを企画してまいります。

20:05 5大委員長
活動計画

宮永憲一次年度財団・米山推進委員会委員長

次年度の財団・米山推進委員会 委員長を務めさせていただきます。大変身の引き締まる思いです。ロータリー財団委員長には脇坂会員 委員には小柳会員 木村会員 米山記念奨学会委員長には竹村会員 委員には大久保会員 飯塚会員 皆様の御協力を頂きながら、ジョンF・ジャームRI会長の『人類に奉仕するロータリー』のテーマに沿って また、河崎エレクトがおっしゃる活動報告を 企画しながら、次年度の活動計画を立ててまいりたいと思います
皆様、一年間よろしくお願い申し上げます。



20:07 5大委員長
活動計画

高見一典次年度会員組織委員会委員長



会員組織委員会の委員長を務めることになりました高見です。会員組織委員会には会員増強委員会と会員研修委員会があり、会員増強委員会委員長には福居会員、委員には石川会員と桑原会員です。会員研修委員会委員長には笹川会員、委員には飛弾野会員と竹村会員です。組織の維持・発展には会員数の増加が欠かせません。退会防止を含めながら、さらに会員増強に努めていきたいと考えています。会員研修におきましては笹川委員長を筆頭にロータリー知識の向上と研鑽に磨きをかけるため、研修機会を設けて頂くよう期待しています。

20:08 第6回
クラブ
協議会
終了